



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成



いろいろな町の駅前や商店街、ショッピングモール等では、美しいイルミネーションが輝いています。(最近はLEDですね。)商店街を歩くと、聞こえてくるのはジングルベルやその他のクリスマスソング。

世の中、すっかりクリスマスモードになっていますが、ここ田平東小学校も同様です。



図書室入口



トイレ前



2年生教室前 廊下の窓の飾り

3年生のリース

季節感

クリスマスにしても、ハロウィンにしても、日本では本来の意味とかけ離れた催し物となっているという批判もありますが、こういった行事等で感じる『季節感』というのは大事なことではないかと思っています。

間もなく、冬休み。その冬休み中、年末からお正月にかけては、日本の伝統的な行事が数多くありますね。子ども達は、そもそも『お正月』って何なのか知っているのでしょうか？ ちょっと調べてみました。

≪昔から、1月1日の朝、(元旦)には「年神様(としがみさま)」という新年の神様が、1年の幸福をもたらすために各家庭においでになるといわれています。その年神様を迎え入れてお祝いし、たくさんの幸せを授けてもらうために、様々な正月行事や風習が生まれました。≫

年神様を迎えるため、お正月を迎えるために、年末からたくさんの行事があります。準備する物もあります。どんなものがあるか知っていますか？ ちょっと、いくつか思いつくままに紹介してみます。



大掃除、年越し蕎麦、除夜の鐘、門松、注連縄(しめ縄)、初日の出、鏡餅、おせち、お屠蘇、雑煮、お年玉、書初め、初夢、七草がゆ、鏡開き、三が日、松の内、小正月、左義長(どんど焼き等の呼び名もあります。)・・・

こうしてみると、すごくたくさんありますね。昔からずっと長い間、私たちの生活の中で伝わってきたものばかりです。でも、今では、その意味をよく知らなかったり、やっていないこともあります。私たちが住んでいる日本や田平というふるさとをもっとよく知り、大切にするためにも、これらの意味や意義を知っておくのも大事なことではないかと思えます。年末、お正月を控え、一度、ご家庭でも話題にしてみませんか？